

建築物の外壁調査における

JAIRA 赤外線法セミナー・豊橋

ビル、マンション等の特定建築物は、10年に一度の定期報告で「外壁調査」が「全面」調査・診断を義務付けられています。技術や機器の進歩から従来の打診法外壁調査より、赤外線法外壁調査は経済性、信頼性、安全性の3つで有効です。このセミナーは、赤外線法調査での本協会の推奨するJAIRA赤外線法劣化診断調査をわかりやすく丁寧にご説明します。

後援 公益社団法人愛知建築士事務所協会東三河支部

日時: 令和4年3月17日(木) 13:30~16:30 (13:00開場)

場所: 愛知「アイプラザ豊橋」306 会議室
愛知県豊橋市草間町字東山 143-6 TEL:0532-46-7181

・豊鉄渥美線「新豊橋」から「南栄」駅下車 徒歩8分
・JR 豊橋駅 西口よりタクシー 15分
※駐車場は台数に限りがありますので、公共交通機関でお越し下さい。



受講料
無料

感染症予防のため
定員 15名程度

経済性
赤外線法による外壁調査
3つの有効特性

短期・軽作業
※足場上作業が無く、仮設も不要

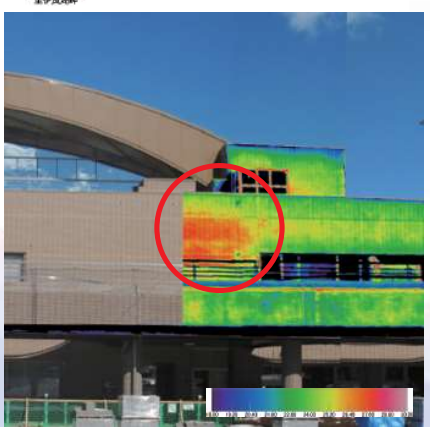
**標準化された
数値データの
記録・分析・管理**

信頼性

**非接触作業
非破壊調査**

安全性

赤外線劣化診断とは、ビルやマンション等の外装タイルやコンクリート等が劣化すると浮きが発生します。赤外線劣化診断とは、地上の離れた場所から、赤外線サーモグラフィを利用して熱伝導の変化でそれを見つけ出す診断法で、非接触非破壊検査技術の一つです。



JAIRA 赤外線法ガイドライン

特殊建築物等足場設置における外壁の劣化損傷状況の赤外線調査ガイドライン

特許工法
特許 4448558

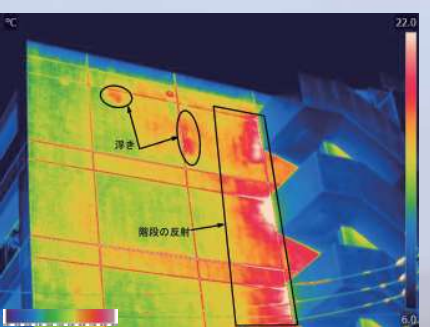
JAIRA 赤外線法劣化診断装置

細野哲弘

高温部

ドローン撮影熱画像

JAIRA 赤外線法とは、JAIRA 赤外線法とは、特許登録（特許 4448553）された赤外線劣化診断工法で、赤外線法の精度を高め、かつ必要な精度を満たすための技術を標準化した工法です。これにより常に標準化された調査データは、各規格や分析への汎用性や再現性があり、高い信頼性を実現しています。また、本協会において技術者の認定講習・試験を行い、常に最新鋭の技術水準を保全しています。



ドローン撮影実証実験

4. ドローン活用による検査

ドローンによる検査

T3: 非接触方式による外壁調査の診断手法及び調査基準に関する検討

一般財団法人 日本建築防災協会
(共同研究 国立研究開発法人 建築研究所)

各種研究レポート

拡充する技術

本協会は、ドローン活用事業の協力や下記整備事業に参加しています。

建築基準整備促進事業 (一財)日本建築防災協会 共同研究 (国研)建築研究所

T3: 非接触方式による外壁調査の診断手法及び調査基準に関する検討
平成 29 年度検討課題

- ①赤外線装置を用いた外壁調査の診断精度に関する整理・検証
- ②ドローン等の活用についての検討
- ③ドローンを活用した外壁調査に関する実験
- ④ドローンの活用を含めた非接触方式による外壁調査の診断手法の検討
- ⑤非接触方式による外壁調査の調査基準(案)の検討と作成

協会の概要

(一社)日本赤外線劣化診断技術普及協会(JAIRA)は、全国の会員組織から成り、定期的な技術会合やシンポジウムを通じて技術振興や調査研究をおこなっています。また、JAIRA 赤外線法における認定講習・試験をおこない、広くその技術者育成や技術普及を実施しています。

【主な活動内容】


- ・赤外線診断資格規格化への貢献
- ・赤外線劣化診断事業に関するアドバイス
- ・赤外線法劣化調査技術に関する調査研究
- ・赤外線法技術に関するイベントへの参加
- ・赤外線法コンクリート劣化調査技術者の育成制度と登録制度
- ・赤外線法普及に関する技術セミナー等の開催

JAIRA 赤外線法 劣化診断技術 講習会

ステップ1をはじめとする JAIRA ステップ講習は、実践に即した技術講習で全国主要都市で年間を通じて提供されています。

ステップ1
更新講習
3年毎の更新

実習と座学を含めて2日間、JAIRA赤外線法や実際の建物や試験体の基礎講習をおこないます。修了時に希望者には、JAIRA赤外線サーモグラフィファーストステップ1技術者としてライセンスが発行され、撮影技術者として、現地撮影をおこなうことができるようになります。また、プレステップ受講資格やステップ2受験資格者となります。



プレステップ2講習


ステップ1講習で取得した技術を実際の建物を使って4日間、さらに高度に学習します。また、実務的計画・調査・報告等の業務の流れも実習します。個別指導書が発行され受講者ごとの明確な指導を受けられます。

特別講習

受講者ごとの弱点克服にむけ、1.5時間の個別指導(受講者1名に対し講師1名)と集合講習1.5時間の講義です。マンツーマンでの講習なので、徹底的な補習学習が望めます。

ステップ2
更新審査
3年毎の更新

この試験は、赤外線法によるコンクリート構造物の調査技術者として必要な高度な知識と技術を証明するものです。試験は、実際の建物を使っての5日間で調査計画書、技術回答書、実技調査、結果報告書の作成と筆記試験をおこない、その後、別の日に口頭試験がおこなわれ、合否を問います。合格率は、35～45%といわれています。



JAIRA 赤外線法セミナー・豊橋 参加申込

お申込みは、協会HPの愛知・豊橋セミナー申込み

(<http://http://jaira.jp/information/toukai-20220317.html>)よりお申込みください。

又は、下記参加フォームをご記入いただき、

FAX(03-6908-7183)でお申込みをお願いします。

参加当日は、名刺を各自2枚お持ちください。

参加者氏名 ご本人を含む
参加者人数 人

会社名 _____

TEL:() - FAX:()

E-mail: @ _____

■ セミナー概要

第1部 30分 赤外線法の概論

- ・赤外線法の長所と短所
- ・JAIRA 赤外線法の適用条件
- ・調査手順 (計画～報告書作成まで)

第2部 40分 JAIRA 赤外線ガイドラインと信頼性

- ・ガイドライン
- ・トレーサビリティ
- ・コスト

第3部 50分 調査の流れ

- ・事例解説

第4部 30分 画像事例



一般社団法人 日本赤外線劣化診断技術普及協会
〒169-0075
東京都新宿区高田馬場 3-2-14 天翔高田馬場ビル 404
TEL: 03-6908-7180 FAX: 03-6908-7183
URL: <http://www.jaira.jp> Facebook はじめました。
本部事務局 営業時間: 9:00~17:00 (年末年始、祝日、土日休)